


平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-6	子どもの発達支援事業	継続	平成20年	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	こども支援室	対象者	区内在住の発達に支援を必要とする幼児・児童の保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容			
目的及び内容	子どもの発達に何らかの課題をもつ保護者に対して、発達課題の理解を深めるための情報提供を行い、子どもへの対応スキルの向上を目指すと共に、保護者同士の情報交流を通して保護者の相互支援を推進する。また、これらの支援活動の報告と検討を行うことで、区内の子どもの発達に関わる諸課題の把握及び、子どもの発達支援活動の向上を図る。 <内容>・関連機関による「発達支援検討委員会」の開催 ・講演会や保護者ミーティングの実施				
予算額	1,216,000 (円)	決算額	1,153,950 (円)	不用額※	62,050 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		「発達支援検討会」は、発達相談支援センター・NPO法人・学校関係者・保護者代表などで組織し、本事業の検討や区内で支援が必要な子どもの現状や課題について話し合った。 また、各機関の取り組みを“リーフレット”としてまとめ、関係機関に配布した。保護者支援としての「保護者ミーティング」は、“就学前”“就学直前”“就学後”の各々の保護者を対象に実施した。不安や悩みを抱える保護者がそれぞれの思いを伝え合うことで保護者自身の不安を軽減することができた。特に就園前のミーティングの中から継続した支援の要望が出され、今後の検討課題となった。		
	実施時期 (開催日/回数等)	発達支援検討会/4回 講演会/3回 ミーティング/計27回	参加人数等	検討会：20名 保護者延べ：330名	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 発達支援検討会を通し、参加した各機関のシステムや事業について互いに知ることができ、現状や課題について共有することができた。また、それぞれが行っている支援をリーフレットにまとめたことで、支援者だけでなく保護者との相談場面でも今後活用できることを確認した。 保護者ミーティングでは、保護者が我が子の発達の理解を深めたり必要な手立てについて知ることができた。また、互いに話し合うことでそれぞれに抱えている不安や悩みを共有でき、課題を解決するヒントを得る場ともなった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	年長児保護者への支援は、幼・保・小の連携においても重要であることが確認され、今後も継続していくことが必要である。 また、就園後の幼児についても、保護者ミーティングの実施など保護者支援の拡充が必要である。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

支援を必要としている方は多く、今後も継続が必要である。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-7	子育て力向上事業	新規	H21	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	地域保健福祉課	対象者	職員（子育て事業従事職員）	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業		
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他（ ）	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>乳幼児健診、訪問など子育て支援事業において、あらゆる相談対応を行なっている職員を対象に、体系的にまとめられた子育てマニュアルである「前向き子育てプログラム（トリプルP）」を学習することで、より一層の指導技術の向上につなげることを目的とする。これにより、子育てに悩む親の心的状況改善を図るための対応力向上が見込まれ、区民サービスの向上につなげる。</p> <p>実施内容は、外部講師による「子育て力向上事業研修会」。トリプルPの専用教材を購入し、研修を受講するとともに、教材を今後の相談業務の際に活用するものとする。</p>					
予算額	164,000(円)	決算額	163,950(円)	不用額※ 50(円)		
※不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(研修で使用した資料)</p>	<p>「前向き子育てプログラム（トリプルP）」の基本理念の学習と相談業務への活用」というサブタイトルで、厚生労働省国立保健医療科学院の加藤 則子部長を講師に、半日の研修会を実施。</p> <p>中原区職員に加えて、他区職員も受講（5名）したことで、中原区のみならず、より広範な範囲で、子育て相談対応職員の指導技術向上への機会となった。</p> <p>当日欠席した職員にも教材を配布することで、今後の相談業務に活用していく。</p>	実施時期 (開催日/回数等)	平成22年3月15日 /1回	参加 人数等	約20名

2 事業評価

<p>評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）</p> <p>武蔵小杉再開発による大規模マンション完成にともない、大幅な人口増加、特に子育て世代の転入による、子育て支援業務へのニーズ・対応件数が増加している。</p> <p>それに加えて、マンション地域での地域自治が遅れていること等による子育て世帯の孤立化等、ますます複雑化する子育てへの相談対応力が、早急に求められている。</p> <p>これに対し、対応職員の能力向上につながる当研修会の実施は、区民ニーズを捉えた、緊急で積極的な事業実施として一定の成果を挙げられたと考える。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

<p>対応職員の能力向上は常に必要であり、人材育成には引き続き取り組んでもらいたい。</p>
--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-1	区民の手で花いっぱい中原事業	継続	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	花クラブ実行委員会		対象者	区民		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()		関連事業局	事業内容			
目的及び内容	区民が主体となった「花による潤いのあるまちづくり」のために、区民の中から公募で組織された花クラブ実行委員会が、公用地である武蔵小杉駅周辺、中原図書館、中原区役所正面、中原区役所周辺、武蔵中原駅周辺の5箇所にて年2回花の植栽と日々の管理作業を行う。 花に触れる体験を通じて、景観や環境に対する理解を進めるため、一般区民を募集して、実行委員会が講師となり、区役所正面玄関前の花壇の花植え体験を行う。						
予算額	2,152,000 (円)	決算額	1,580,692 (円)	不用額※	571,308 (円)		
※不用の理由	各委員の尽力により、植栽のための花を安価に購入することができたため。						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		暑い日も寒い日も、花壇及び樽ポットへの水遣りを含めた日々の維持管理作業を欠かさず行い、年2回の植栽時にはデザインから花の選定まで実行委員会が行い、通行する区民に安らぎを与える景観づくりにつなげている。 また、年1回の視察研修では、花の手入れ等に加え、リサイクル農法についても学び、景観や環境に対する理解を深めている。 花に触れる体験を通じて、景観や環境に対する理解を進めるため、一般区民を募集して、実行委員会が講師となり、区役所正面玄関前の花壇の花植え体験を行った。				
	三角公園班の花の植替え作業		実施時期 (開催日/回数等)	通年		参加人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 公募の区民が日々、地道に公用地に出向いて維持管理作業を行い、植栽作業で工夫をこらすなどして「花による潤いのあるまちづくり」を推進することができた。また、環境に対する理解を深めるため、視察研修でリサイクル農法に関する取組を学んだ。 また、日ごろの維持管理作業での知識を活かし、区役所正面玄関前花壇の花植え体験の講師役を担う事により、知識のフィードバックをする新たな展開が定着している。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	中原区内の魅力発信やまちの活性化を図るため、地域で活動する団体、企業と花植え時の協力について、検討を行っていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


まちなかに花があることでまちのイメージ向上に役立っている。花の名前が分かるような、プレートを設置しても良いのではないかと。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-2	中原区STOP!ヒートアイランド事業	継続	H21	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局 ・事業内容	環境局		
目的及び内容	中原区はヒートアイランド現象などにより、市内でも夏季の気温が一番高い。地球温暖化防止に向けた取り組みを、広く区民に啓発し区民意識の向上を図ると共に、区民との協働を進め、地域における環境問題対策を進める。 ●緑のカーテン事業●打ち水大作戦●環境ミーティング●環境バスツアーの実施				
予算額	2,824,000(円)	決算額	2,823,008(円)	不用額※	992(円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (環境ミーティングの様子)		「緑のカーテン&環境“楽習会”」: 年4回実施 「打ち水大作戦」: 7会場で実施 「区民環境ミーティング」: 区役所で100人ワークショップの実施 「環境バスツアー」: 秋休みを利用し、区内の小学生親子10組で工場見学の実施		
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加人数等	_____	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区民に気軽に環境問題を考えるきっかけとして、「環境“楽習会”」を企画・実施した。緑のカーテン事業では、21施設・24団体・155人以上が地域で緑のカーテン作りに参加した。また、区民100人が参加し行った、環境ミーティングでは、一人ひとりが行っている、環境対策について話し合いを行い、話し合われた成果として「中原流!エコ作法」を制作、配布した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	より多くの区民が参加しやすいような、仕組みづくり、場の提供などを検討の上、継続して実施する。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

地球温暖化防止への取り組みは、継続が必要である。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-3	自然エネルギー活用促進事業	新規	平成21年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局 ・事業内容	環境局		
目的及び内容	中原区では、地球温暖化防止に向けた取り組みとして、中原区 STOP!ヒートアイランド事業を推進している。事業の更なる推進と区民へのPR効果を高めるため、区内の自然エネルギー活用事業を促進している事業者と連携し、風力発電設備を導入する。				
予算額	2,100,000 (円)	決算額	2,100,000 (円)	不用額※	0 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	区が取り組む環境事業のシンボリックな存在を設置することにより、事業の啓発効果を高めることができた。 発電した電力の有効活用として、LED照明を活用して区役所正面に設置されている区役所案内看板をリニューアルすることで、看板の視認性を高めることができ、区民サービスの向上を図ることができた。			
		実施時期 (開催日/回数等)	平成22年3月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 区の環境事業をアピールするシンボルができたことにより、事業の一層の啓発を行っていくことができた。今後も引き続き実施する環境事業において、環境学習の場として、有効活用を図っていくことができる。 また、発電した電力を活用して区役所看板に LED 照明を導入することにより、夜間の看板の視認性が大幅に向上し、区民サービスの向上が図られた。 中原区 STOP!ヒートアイランド事業で指摘されたシンボリックな存在が必要との課題にも即応することができ、22年度以降に同事業を進めていく上でも、大きく寄与していく。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	協働推進事業としては、21年度で一旦終了するが、22年度は別途予算（環境費）により、太陽光発電設備を導入する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

次年度以降も環境を啓発できる取り組みが必要である。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-1	中原区民総ぐるみスポーツ大会	継続	昭和50年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会	対象者	区内在住の小学生男女及び 成年女性	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	なし		
目的及び内容	区民とのパートナーシップで、多くの小学生や大人が参加できる大会を実施することにより、区民相互の親睦を深めるとともに健康で明るく住みやすいまちづくりを推進する。 等々力緑地催し物広場において、中原区内の小中学生男子・女子、成年女性の3部門のドッジボール大会と自由参加型のスポーツラリーを開催。種目では、ドッジボール以外にも3種目のスポーツラリーがあり、こちらはゲーム感覚で楽しめるスポーツでドッジボールに参加しない小学生でも自由に参加できるようにしている。				
予算額	750,000 (円)	決算額	736,868 (円)	不用額※	13,132 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	大会では、子供から大人までドッジボールやスポーツラリーを通じて交流を深めることができた。また、運営を行っている諸団体(子ども会役員、青少年指導員、体育指導委員等の方々)同士の交流も深めることができ、親睦にもつながった。 大会に参加したチームからも、また参加したいとの声が多く寄せられた。			
	実施時期(開催日/回数等)	平成21年10月 開催(年1回開催)	参加人数等	約1,000名 (スポーツラリー含)	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 昭和50年から続いている歴史ある大会であり、毎年約1,000名の区民が参加する恒例の大会になっている。当日はドッジボールの大会だけでなく、自由参加型のスポーツラリーも好評であり、毎年多くの小学生に参加している。なお、スポーツラリーの参加者は家族連れで来ている方も多く、和やかな雰囲気できれいに楽しんでもらっている点も評価できる。 業務委託先である中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会は、町内会・子ども会・青少年指導員会・体育指導委員会等の地元各種団体で構成される団体であり、基本的にはボランティアのため人件費等がかからず、廉価で大会が運営できている点も評価できる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	スポーツラリーについては、地域のスポーツ資源を活用したアメリカンフットボールなどのアトラクションを検討、設置し、普及・啓発を行うとともに経費節減の取組みを推進する。広報については、市政日より、区のHPを始め、地域広報誌への掲載などを行い、新規住民の方にも参加を促していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

継続していくことが必要。再開発地区などの転入者にもイベントの周知が必要ではないか。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2	中原区スポーツ振興事業	継続	平成2年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	主に区内において体育及びスポーツを実施する団体		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()		関連事業局・事業内容	なし			
目的及び内容	区民の健康増進と相互の親睦を深めるとともに、スポーツの振興発展を目指し、明るく住み良いまちづくりの推進を図ると認められる行事に対し、中原区長杯を製作・贈呈している。						
予算額	400,000 (円)	決算額	225,855 (円)	不用額※	174,145 (円)		
※不用の理由	21年度開催予定の大会が経済情勢の影響等により、中止になったため。						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		平成21年度は、計16のスポーツ大会に26個の区長杯を贈呈した。区長杯製作・配布事業は事業開始から19年が経過し、区民にも区長杯事業は浸透してきている。しかしながら、経済情勢の先行きが不透明の中で、一部で地域の方が独自で大会を実施する余裕がないとの理由から、一時的にやむを得ず大会を取りやめたとの報告も受けており昨年より配布数は減っている。 なお、実施団体からは、区長杯を贈呈したことによって大会が盛り上がったとの声を多くいただいている。				
	実施時期 (開催日/回数等)	通年 (年20回)	参加人数等	—			

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区長杯を贈呈したスポーツ大会などでは、参加者の動機付けとなり区民相互の親睦を深められたとともに大会の活性化を促進したことから、おおむね目標は達成できた。 区内の特定の地域だけではなく、区全体の大会に対して区長杯を贈呈することで、区長杯事業の目的が地域に浸透してきている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	区長杯を利用してもらうための周知方法を検討、実施し、地域のスポーツレクリエーションを一層発展させ、明るく元気あるまちづくりを推進していく。昨年より配布数が減ったとはいえ、区長杯に対するニーズは依然として高く、区長杯を贈呈することにより、各スポーツ行事を活性化することができ、今後も事業を継続していくことは必要だと考える。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

区民がスポーツへ取り組む意欲を増す事業である。区長杯を利用してもらうための方策を検討する必要がある。
--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-3	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」	継続	昭和48年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」実施委員会		対象者	区内在住の小学生高学年以上の男女		<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()		関連事業局・事業内容	なし			
目的及び内容	多くの区民に親しまれている「ランニング」を通じて、健康ランニングの普及と区民の健康増進を図ることを目的とする。 小学生高学年男女3kmの部、中学生以上5kmの部、中学生以上10kmの部以上の3部門を多摩川ハーフマラソンコースで開催。						
予算額	450,000(円)	決算額	450,000(円)	不用額※	0(円)		
※不用の理由							
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		大会当日は、642名(昨年568名)の区民が参加し、区民の健康増進に資することができた。この大会を目標にしているリピーターも多く、また近年のランニング人気の高まりを受けて、直近3年間の全体の参加者は、毎年約100名ずつ増えており大会は活気に満ち溢れている。				
							

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)

直近3年間の参加者は増加傾向にあり、安全面を含めた運営が困難になる可能性が想定されたため、今年度から参加対象者は区内在住者(区内在勤除く)のみとした。しかしながら、近年のランニング人気の高まりを受けて、参加者は昨年よりも約100名多い642名だった(申込時点では792名)。この数字からもわかるように、今後も必要な事業であり区民の大会に対するニーズは高い。

また、近年、健康に対する注目度も高く、その中で健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれている「ランニング」を題材としているため、参加者にとって目標としている人も多い。小学生を含め一般参加者も増えていることから、今後も健康スポーツの発展には重要な事業といえる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	参加者は増加傾向にあるため安全を配慮したコース及び種目の選定を検討する必要がある。運営については、町内会・体育指導委員・青少年指導員・子ども会・交通指導員等の協力を得ながら行っており、今後も、これまで同様に各団体の役員の協力を得ながら効率的に運営を行なう。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

歴史のある事業であり、継続実施してもらいたい。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-4	中原区青少年吹奏楽コンサート	継続	平成2年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区青少年吹奏楽コンサート 実行委員会		対象者	中原区内全中学校・高等学校 吹奏楽部、ゲストバンド	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()		関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	音楽を通じ、情操豊かで創造性溢れる青少年の育成を図り、校外生活の善導に資するとともに、文化の薫り高いまちづくりを推進することを目的に、区民との協働により、中原区内の全中学校・高等学校吹奏楽部を対象とした吹奏楽コンサートを開催する。				
予算額	2,490,000 (円)	決算額	2,424,635 (円)	不用額※	70,365 (円)
※不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (区内6校有志による合同演奏)		演奏はもちろんのこと、衣装・振付けなどにおいても各校それぞれが個性を活かした演奏を披露し、観客である区民・生徒の家族・音楽ファンの目を楽しました。とくに、各校有志の生徒による合同演奏では、20周年を記念し「なかはらの歌」を演奏。会場を盛り上げた。 当日は、舞台転換・場内整理・入口での案内など、実行委員が生徒に指示をしながら運営をし、演奏者としてコンクール等に参加する機会が多い生徒達に、主催者として地域イベントの運営を体験する社会勉強の機会を提供することができた。		
	実施時期 (開催日/回数等)	11/3 (火・祝)	参加人数等	1,277人	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 参加する生徒にとっては、他校の演奏やゲストバンドの演奏を聞くことが出来る貴重な機会であるとともに、特に合同演奏においては、学年を問わず他校の生徒と演奏を通じてのふれあいがあり、青少年の心身の成長を促進する機会を提供できている。また、本事業は区民にとって気軽に音楽を楽しめるイベントであるとともに、単なる音楽イベントではなく、音楽を通じ地域の青少年の成長する姿を見られるイベントであるという点が、地域に対し青少年の健全育成を訴え、毎年客席が満席に近くなることから、区として本事業の集客力と必要性を感じる事業である。実行委員と生徒と一緒に運営を行う点も、青少年の健全育成という事業の目的にかなっており、実行委員会の手により社会体験の機会が提供される点で、地域におけるボランティア精神を養う貴重な機会だと評価できる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	現状のまま充実した内容で継続し、企画・運営へのさらなる青少年の参加を図り、青少年が主体となり実施するコンサートへ近づくことで、青少年に対するさらなる体験機会の提供と、ひいては健全育成を推進する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見


音楽を通じて、健全な青少年が育っている。良い事業である。

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-5	中原区役所コンサート事業	継続	平成5年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域振興課	対象者	一般区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	ランチタイムにクラシックやジャズ等の音楽を気軽に楽しんでもらい、親しまれる区役所を目指すとともに中原区内における音楽のまちづくりを推進する。 開催時には保育ボランティアによる幼児の一時保育を実施し、普段気軽にコンサート会場に足を運べない客層にも幅広く来場を呼びかける。				
予算額	2,044,000 (円)	決算額	1,998,818 (円)	不用額※	45,182 (円)
※不用の理由	会場を変更して開催した際、会場設営の人員費が不要になったことによる。				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	中原区役所5階会議室で5月、6月、8月、10月の4回、中原市民館2階ホールで12月、川崎市平和館屋内ホールで3月に実施、計6回開催した。 8月には100回記念として、初の土曜日開催と開催時間の延長を試みた。また、12月と3月には開催場所を変更し、同時に来場者アンケートを実施した。これにより、今後の区役所以外の会場での開催を含めたコンサート形態を検討する礎とした。 開催の内容としては、クラシックから民俗音楽・ジャズといったジャンルまで、幅広い提供を行った。			
	(8月開催の100回記念公演)	実施時期 (開催日/回数等)	年6回	参加人数等	毎回250人程度

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 中原区役所コンサートは、「音楽のまち・かわさき」をうたう市の取り組みに寄与する事業であるといえる。また、予約不要の無料コンサートであることや、幼児の一時保育を受け付けていることにより、幅広い客層に気軽に参加していただくという趣旨に合致している。 平成21年度は100回記念を迎えたこともあり、今後のコンサート形態の検討をするため、開催場所や開催時間の変更を試みた。開催場所を変更した際に聴取したアンケート調査によると依然として区役所での開催を望む声が多数を占めるものの、ランチタイム以外や区役所以外での開催を希望する声もあった。こうした声が聴取できたことで、今後のコンサート開催形態を検討するための貴重なデータとして役立つことができる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	アンケート調査によると、半数以上の観客がリピーターであることが判明しており、本事業が浸透していることが分かる反面、固定された客層に提供し続けているとも言える。今後は年2～3回の開催場所変更や時間変更をニーズに合わせて行い、より幅広い区民に提供できるよう進める。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

※ 区民会議からの主な意見

気軽に参加できることで楽しみにしている人が多い。開催時間や場所に変化をつけることも必要ではないか。
